



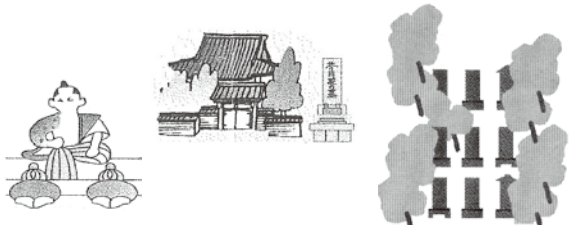
とげぬき地藏尊 高岩寺



とげぬき地藏尊 高岩寺「洗い観音」



商店街の中央部に鎮座する曹洞宗萬頂山高岩寺は、「とげぬき地藏尊」という名で親しまれている名刹です。江戸幕府の開府以前の慶長元年（1596年）に、現在の外神田二丁目で開創され、60年後、下谷屏風坂に移転。そして、現在ある巢鴨には明治24年（1891年）に移ってきました。ご本尊であり「とげぬき地藏」として靈験あらたかな延命地藏尊（秘仏）は、多くの善男善女から信仰を集めています。また、境内の「洗い観音（聖観世音菩薩）」は、水をかけ、自分の悪いところを洗うと治るといふ信仰が生まれ、今は2代目の観音様を布で洗うようになっていきます（初代は後部の厨子に納められています）。



江戸六地藏尊 眞性寺



すかもん

平成28年10月1日現在

「江戸六地藏尊」の1つが奉られている眞性寺は、江戸時代初期の元和元年（1615年）に祐遍法印が中興開基した古刹。現在は真言宗豊山派のお寺となっており、旧中山道の入口にあたる本寺と大きな笠をかぶったお地藏様は、「江戸名所図会」にも描かれ、江戸時代から江戸六地藏尊参りて親しまれ崇拝されてきました。境内には「芭蕉の句碑」もあり、歴史を今に伝えています。